

「手話サポーター養成事業」を知っていますか？

語学として
手話を学んでみたい

手話を身につけて
将来の仕事に
活かしたい



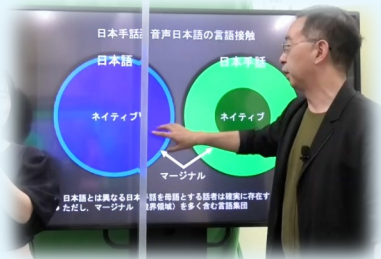
学部の教養教育の講義を履修できます(申請手続きが必要)
(卒業単位には加算されますが、教員免許の単位には含まれません。)

これまで、どこかで学んだり、なんとなくやってみたことがあった「日本手話」。しかし、「日本語」とは異なり、独立した言語であることは、知らなかったのではないのでしょうか。日本手話ネイティブのろう者の講師から、本当に「使える」日本手話を学んでみましょう。あなたのコミュニケーションの幅を広げてみませんか。

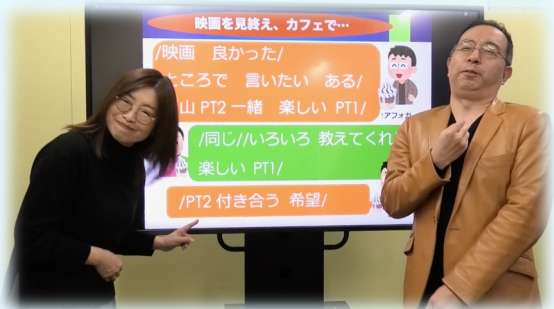
手話に触れてみたい人向け

手話とろう文化(前期木曜3・4限)

ろう者の言語である「日本手話」の実技指導を通して初歩レベルの会話を手話で表現できるようにするとともに、ろう者の考え方や行動様式を「ろう文化」という異文化理解の視点で捉えていくことで、身体状況、言語、文化の異なる者の多文化共生社会のあり方について見識を深めます。



実技では寸劇混じりで進みますので、楽しみながら手話を学ぶことができます。



手話を本格的に学びたい人向け

言語としての日本手話 I A (前期火曜1・2限)

言語としての日本手話 I B (前期水曜5・6限)

言語としての日本手話 II A (後期火曜1・2限)

言語としての日本手話 II B (後期水曜7・8限)

- ・「IA」「IB」は連続している演習のため併せて履修すること。
- ・「IIA」「IIB」は連続している演習のため併せて履修すること。

日本語とは異なる言語体系を持つ日本手話について、基本的な構文と文法を習得し、日常生活や社会生活全般の話題について日本手話でやりとりをする力を深めます。



少人数で学びます。課題もちよっと多いかも(笑) その分、みるみる上達していくのが分かります！

